

令和4年度 稲美中学校学校教育目標の実現に向けて

■目指す学校

つながる人 つながる心 つなげる夢・未来

1 笑顔で通える学校

- ・温かい心のふれあい ・個性を認め合える
- ・授業や特別活動を通じた高め合い、学び合い

2 夢を育てる学校

- ・良さや可能性を引き出す
- ・授業を通じて様々な分野への関心を高める
- ・社会とつながる授業・体験活動の充実〔キャリア教育〕の充実

3 地域と願いをともにする学校

- ・保護者・地域と願いを共有
- ・コミュニティ・スクールで学校を活性化



1. 授業・特別活動の充実

○コロナ禍でも学びとふれあいの機会を大切に

- ・行事・活動の目的をもって「できることを最大限に」実行しよう。

○ことばを育てることで、心を育てる

- ・自分の思いを伝える機会をふやし、伝える力を育てよう。 ……伝える力は人とつながる力。
- ・相手を意識して話し、相手の話をしっかりと聴く姿勢を育てよう。

○社会とつながる、生き方を考える授業・体験活動

- ・社会とつながる、生き方を考える授業を意識しよう。 夢や未来へ繋ぐ
- ・知識の伝達だけでなく、「人を育てる」授業をしよう。

○指導と評価のよいつながり

- ・生徒のやる気と力を伸ばすよい指導とよい評価のあり方を考えよう。

2. 生徒指導・特別な配慮が必要な生徒への対応

○心が温かくなる学校に

- ・笑顔とあいさつ、前向きな言葉が飛び交う学校にしよう。
- ・集団の中で、ひとり一人の個性を大切に……人として大切なもの

○自主性や行動力を培う

- ・生徒が自分で考えて、主体的にする機会をふやそう。 学級・ボランティア活動等



○情報共有、チーム対応、専門機関との連携

- ・生徒とつながる・・・会話・観察・生活ノート
- ・保護者とつながる・・・こまめな連携(思いの共有)・
- ・教師でつながる・・・「ハウレンソウ」 必要な報告・連絡・相談を・・・学年、学校で
- ・担当者でつながる・・・生徒指導、学校生活支援(通級)、生徒支援、特別支援)に相談
「学習室(ふれあいルーム)」の活用
- ・専門スタッフ、外部機関とつながる・・・SC SSW ふれあい教室、外部機関

3. 情報教育

○情報化教育推進・環境整備

- ・生徒への授業配信、家庭への文書配布等、さらなる有効利用をしよう。
- ・授業における成果と課題は何かを考えよう
- ・使い方、ルールやマナーの、更新、見直し

4. 地域と共に

○コミュニティ・スクール

- ・人を育てる 地域と手を繋いでこんなことができる
- ・地域とつながることの良さをみんなが感じられる取組に
「地域と学校の連携・協働スキルアッププログラム」



5. 人材育成・業務改善

○学び続ける姿勢を

- ・計画的な校内研修を計画・・・教科、道徳、人権、生徒指導、特別支援、学習評価など
- ・外部への研修への積極的な参加を→参加後は成果を伝えましょう
- ・予算の有効活用・・・ほしいものが買えます。講師が呼べます。
- ・ブラッシュアップ講座
- ・指導についてたくさん語り合ひましょう。→相互参観を(相互)

○業務改善

- ・行事の精選・・・コロナ禍
- ・会議の効率化と充実
- ・「勤務時間」を意識して働く 「ノー残業デー」

チームとは 仲間として 同僚として・・・高め合う 助け合う

